

椎名としあき

しいな

次の世代へ
「明るい未来」を
しっかりとつなぐ

責任を持つべき世代が
真剣に考え、行動する



ご挨拶 上市町への想い

私は、昭和41年1月に上市町西中町に生まれました。西中町にあった銭湯「松の湯」の長男です。

小学校は、上市中央小学校です。ここに私の人生の原点(心の拠り所)があります。自転車クラブに所属し、毎日の厳しい練習の甲斐があり全国優勝できたのです。上市駅前で開催された優勝記念パレードの様子は今でもはっきりと覚えています。「こんな田舎の町からでも一生懸命努力すれば日本一になれる。」そんな自信が子供心にしっかりと刻まれました。小学生の私にとって、上市中央小学校、上市町は光輝く場所だったのです。

中学校、高校は富山市内の学校に通いました。よく友人達からは上市は田舎だと言われましたが、小学生の時に私の心に刻まれた「上市プライド(上市町に住んでいることを誇りに思う気持ち)」は微塵も揺らぐことは

ありませんでした。当時は、「富山市何するものぞ!!」という気概が自分の中にはありました。

大学は東京の学校へと進みます。大学4年生で就職活動を行った昭和63年はバブル全盛期です。友人達のほとんどが東京での就職を決める中、故郷への想いが捨て難く、迷った末に上市町に戻る決断をし、北陸電力に就職させていただきました。

会社は富山市内ですが、結婚して家を作る際には、迷うことなく上市町(旭町)に家を建てました。私は人生の大きな岐路においては、いくつもの選択肢の中から、常に上市町を選択してきました。自分では、それ程に「上市愛」が強いと自負しております。

北陸電力では、「経理」「資材」「秘書」「総務」部門を中心に幅広く職歴を重ねました。最後は、事務屋にも関わらず、原子力発電所の勤務も経験しました。35年近くに及び勤務を通して、本当に多くの貴重な経験、知識を積み重ねることができました。何よりも仕事を通して各方面に築くことができた人脈は私にとってかけがえのない財産です。富山支店の総務部長をしていた際に、業務上、管轄内の自治

体(富山県、富山市、上市町、立山町、舟橋村、岐阜県飛騨市)の方とお話をさせて頂く機会が多くありました。その際、感じたのは自治体によって業務運営の方法や業務処理のスピード感が全く異なるということでした。上市町を他の自治体と比較し、外部からの冷静な目で客観的に見ることができたのは、とても得難い経験でした。また、上市町と北陸電力との間で締結している災害時における包括連携協定は富山支店時代に私が中心となって纏めたものです。

現在、私は59歳です。自画自賛になりますが、若過ぎず、高齢過ぎず、これまで培ってきた経験、知識や人脈を基に、上市町の将来を見据え、町のために一番力を発揮できる年齢ではないかと思っています。今の上市町の現状に対して、少し元気が無いなと停滞感を感じておられる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

次の世代へ「明るい未来」をしっかりとつなぐためには、責任を持つべき世代が真剣に考え、行動することが何よりも大切です。そのために、是非とも一生懸命頑張らせて頂きたいと思っています。

椎名 俊明

椎名としあき プロフィール

昭和41年1月5日生(59歳)

- ▶ 上市中央小学校(昭和53年卒)
[自転車クラブで全国優勝を経験]
- ▶ 富山大学教育学部附属中学校(昭和56年卒)
- ▶ 富山高校理数科(昭和59年卒)
- ▶ 早稲田大学政治経済学部(平成元年卒)

- ▶ 北陸電力株式会社(平成元年入社)
 - ・資材部資機材契約チーム統括(課長)
 - ・人事労務部秘書チーム統括(副部長、課長)
 - ・総務部 副部長
 - ・富山支店 総務部長
 - ・志賀原子力発電所 所長代理 等を歴任
- ▶ 北電産業株式会社(令和5年入社)
 - ・ビル・施設事業部 部長



上市中央小学校自転車クラブ全国優勝



北陸電力退職記念



【好きな言葉】 意志あるところに道は開ける

【趣味】 ▶ 高校野球観戦…高校野球(春、夏、秋)のシーズンの休日は、ほとんど何処かの球場にいます。
▶ 読書…推理小説(特にトラベルミステリー)や警察物を好んで読んでいます。
▶ ウォーキング…昼休みを利用して、会社近くの「富岩運河環水公園」をよく歩いています。

【家族構成】 妻(町議会議員の椎名寛子)、長女、長男、次男、母、トイプードル2匹、ハムスター1匹

椎名としあきが やりたい8つの施策!

< 基本方針 >

上市プライド(上市愛)の醸成

住民が自分の町にプライド(住んでいることを誇りに思う気持ち)を持てるようにする。

未来(10年後、20年後)を見据えた 次の世代に負担を 残さない町づくり

財政の緊縮を図るだけではなく、未来のために必要な投資は積極的に実施する。

外部から見た客観的な視点、 民間の感覚(コスト意識・スピード感)を 活かした町づくり

各施策の必要性を徹底検証し、不必要な施策からは勇気をもって撤退する。本当に必要な施策に経営資源(人・物・金)を重点投入し、スピード感を持って対応する。

1 防災・減災対策の強化

- 集中豪雨、地震等の災害に備えた対策の徹底(避難施設や道路等の危険予測箇所の整備、食糧備蓄等)
- 役場内の防災・減災対応部門の強化(町内会との連携強化含む)
- 周辺自治体との災害時広域連携協力体制の強化
- 民間企業との災害時の協定締結の推進



石川県珠洲市にて
災害ボランティア

2 高齢者が元気に暮らせる町づくりの推進

- 各種サークル活動をはじめとした高齢者の生き甲斐づくりの推進
- 高齢者にとって切実な買い物、通院等のための交通網の維持、整備
- 高齢者に優しいICT(情報通信技術)を活用した医療、福祉環境の整備

3 教育環境の整備

(子供の頃の町に対する印象が将来の定着、Uターンにつながる)

- 子供のクラブ活動への支援拡大
- 図書館のハード、ソフト両面での内容充実(図書館はその町の文化度のバロメーター)
- 各分野の専門家(起業家、音楽家やスポーツ選手等)による講演会、講習会の積極的開催(子供たちが本物に触れる機会を設けることにより将来の夢を考える手助けをしたい)
- 有機無農薬や自然栽培作物を学校給食に採用することによる食育教育の推進
- ふるさと愛が育まれるよう、小学校、中学校と連携したふるさと教育の推進

4 子育て支援環境の整備

- 行政だけでなく、地域や各種団体との連携による支援体制の充実(親の孤立を防ぎ、地域で子供を育てる、子育てしやすい環境づくりの推進)
- 誰一人取り残さない教育の実現(生きづらい子供が出すサインを見逃さず、丁寧に拾い上げ、「助けて」が言える場所づくりの推進)

5 (デジタルトランスフォーメーション) DXによる行政サービスの質の向上と業務効率化の推進

- デジタル技術を活用した利便性の高い町づくりや質の高い行政サービスの提供
- デジタル化促進人材の積極的養成による徹底した業務効率化の推進(単純作業を徹底的に機械化し、発生する余力で直接対応サービスを充実)
- ビックデータの積極的活用(数値的根拠に基づく有効施策の展開)

6 移住・定住施策の充実や交流人口の拡大(人口減少社会への対応)

- 子育て世代等をターゲットにした移住促進のための情報発信の強化
- 県外、国外の観光客への誘客促進のための情報発信の強化
- 空き家活用施策の更なる推進(ゼロ円空き家バンク、空き家を活用した創業への支援等)
- 官民連携したテレワークオフィスを整備することによるテレワーカーの誘致
- 都会の複業人材とのマッチングによる企業の課題解決・生産性向上への支援



フォトログ 上市まちのわ(夫婦で5回目の参加)

7 稼げる町づくりの推進

- 企業間連携への積極的協力、支援(町内企業が連携し経営資源を補い合うことで、新商品や新サービスの開発、販路の拡大、経営効率化、コスト削減等を推進)
- 上市ブランド製品の確立(「剣岳」「おいしい名水」等の知名度がある天然財産に付加価値を加えることによる上市ブランド製品の確立)
- チャレンジしやすい起業環境づくりの推進
- 豊かな自然環境や文化を活かした稼げる観光産業の育成(登山、サイクリング、サウナ、キャンプ、森林セラピー等)
- スマート農業の推進による稼げる農業の実現と若手就農者の育成
- 人手不足が深刻な産業(建設業、農業等)の従事者確保、育成施策への積極的協力、支援

8 賑わい創出活動の推進

- 賑わい創出イベントへの積極的な支援及び誘致活動の推進
- 大学運動部やサークル等の合宿誘致活動の推進
- 「〇〇の町 上市」といった上市ブランドイベントの確立



東洋大学インターンシップホームステイ受入れ

